

## 編集後記

「遂に、発刊に辿り着けた！」というのが実感です。安易に編集責任者を引き受けた私のマネージメントの不手際で、予定より 1 年遅れの発刊となりました。会員のみなさまには、この場をお借りしてお詫び申し上げます。遅れはしましたが、中村安秀 JICHA 会長の「世界の子どもの健康」への思いのこもった挨拶文、仁志田博司先生の新生児保健医療についての論説、2009 年 10 月のワークショップでの明石秀親先生、松井三明先生、石井澄江先生、藤田則子先生、森 臨太郎先生、中村安秀先生の講演内容と、国際小児保健医療を目指す若い方達へのメッセージとして、また、教材、資料として充実した内容にすることができたと思っています。とくに、今回のワークショップを企画、運営していただいた森 臨太郎先生、岩本あずさ先生、演者の先生方には、海外出張や新型インフルエンザ対策などでお忙しいなか、原稿を準備していただきありがとうございました。

今後、JICHA ジャーナルは、研究会報告を中心に、年 2 回、発行する予定です。会員が所属する各施設の学生、研修医、小児科医、コメディカルの方々に JICHA ジャーナルをご紹介いただき、私達の活動を多くの人たちに伝えていただきますようお願い申し上げます。また、JICHA ジャーナルは、原著論文、活動報告、フォーラム、資料、書評など幅広く投稿を受け付けています。みなさんのまわりにいる「国際好き」「子ども好き」「保健好き」の方々に投稿をお勧めください。JICHA ジャーナルを、さまざま視点の多くの経験や知見を共有できる場に育てていければと思います。

2011 年 1 月吉日

JICHA ジャーナル編集長

堀 浩樹

(三重大学大学院医学系研究科)